

## 令和4年度（2022年度）輸送実績の概況

令和4年度における内航輸送量の合計は、前年度比では97.1%の3億5,659万5千トン・klとなり、貨物船は2億3,621万トンで97.1%、油送船は1億2,038万5千トン・kl、96.9%となった。下期の貨物船の輸送量は1億2,113万1千トンで前年同期比99.1%、油送船は6,174万7千トン・klで前年同期比96.1%となった。

品目別に前年度と比較して見ると、金属鉱、コークス、肥料、木材、コンテナ、自動車の6品目が増加した以外は全て減少となった。

油送船は油脂が増加した一方で、黒油、白油、ケミカル、特タン船が減少となった。

品目別に前年度下期比で貨物船の輸送量を見ると、鋼材は88.4%。自動車生産の供給制約の影響も薄れつつあるものの、建設需要の低迷が継続した。2022年度後半には9月～翌1月まで東日本にある高炉で改修工事が入った影響も見られた。鉄鋼製品の在庫高が解消されておらず、年度末にかけて盛り上がりには欠けた。

原料は93.3%。主たる貨物の石灰石が鉄鋼、セメントの需要低迷に伴い減少している。非金属鋼も落ち込みが大きくなっている。

燃料は101.5%。石炭について上半期に広野、磯子等各石炭火力発電所のトラブルが重なった上に、愛知の明治用水頭首工で発生した漏水事故から碧南火力発電所が停止したため輸送量の大幅な減少が見られたが、下半期はトラブルの解消から回復している。

紙・パルプは99.9%。需要低迷の中、下半期において一部の九州航路で製紙工場から紙製品の出荷がなくなっている。一方で、同じく下半期に入り木材の輸送について増加が見られて全体を押し上げている。

雑貨は100.6%。前年度に見られた巣ごもり需要による宅配貨物の輸送が剥落した一方、コロナ禍で初めて行動制限のない夏休みシーズンを迎え、飲料水や食料品等の出荷は高水準で推移した。また、北海道航路において前年干魃被害にあった農産品の出荷は、今年度は順調な送り込みが見られた。食品等については値上げ前の駆け込み需要が一部見られたものの、その後も度重なる値上げが続いたため消費は落ち込んだ結果、歳末や年度末の輸送は低調に推移した。コンテナについては円安を背景とした自動車部品のCKD輸出の横持ち輸送が旺盛となった。

自動車は117.7%。半導体不足等供給制約により減少傾向が続いた。夏以降は供給制約が解消されたため、前年水準を上回る輸送量で推移が見られた。

セメントは97.7%。出荷の停滞が見られている。工事案件はあるものの人手不足や資材・部材の価格の上昇による入札不調もあり販売の伸びは鈍く、前年水準を下回る輸送量で推移した。

穀物・肥料・飼料は104.0%、機械・プラントは105.8%、砂・砂利・石材は81.4%となった。

油送船においては、黒油が 95.9%、白油が 98.1%、油脂が 109.8%、ケミカルが 92.1%。特タン船が 90.7%となった。

2022 年 2 月に始まったロシアによるウクライナ侵攻や欧米先進国の金利引き上げの動きによる景気後退懸念等による原油の価格上昇のほか、製油所トラブルや中国のゼロコロナ政策等により輸送需要は大きな影響を受けている。

黒油は上半期において 2022 年 3 月 16 日に発生した福島沖地震で東京・東北電力管内の石炭火力発電所の停止により、石油火力発電所向けの黒油の輸送が一時的に増加した。また、LNG 価格上昇に伴う石油火力発電所向けの輸送や猛暑による需要の高まりも見られたが、下半期においては電気価格の高騰、記録的な暖冬もあり輸送は落ち着いたものとなった。

白油（ガソリン・灯油・軽油）は移動制限の緩和や旅行支援等によるジェット燃料需要の回復が見られている一方で、原油価格の高騰等もありガソリンは需要が減少している。灯油は暖冬の影響から需要の鈍化があったほか、製油所の装置不具合により転送需要が見られた。

ケミカルは需要の減少や中国のゼロコロナ政策による都市封鎖から輸出の停滞、事業所の稼働停止もあり低迷した。

特タン船に含まれる高圧液化や高温液体、耐腐食についても大規模な定期修理の影響や市況の悪化もあり低水準に推移した。

[ 参 考 ]

関連業界の動向

	令和3年度（2021年度）			令和4年度（2022年度）			増減率	
	上期	下期	年度計	上期	下期	年度計	前年同期比	前期比
<b>鉄 鋼</b>	(千t)			(千t)			(%)	(%)
粗鋼生産量	48,423	47,214	95,637	44,805	43,032	87,837	91.1%	91.8%
粗鋼見掛消費	32,322	32,381	64,702	30,176	28,866	59,041	89.1%	91.3%
<b>石 灰 石</b>	(千t)			(千t)			(%)	(%)
生産量	65,555	67,138	132,693	63,717	62,972	126,688	93.8%	95.5%
国内出荷	62,213	64,023	126,236	60,307	60,018	120,325	93.7%	95.3%
<b>製 紙</b>	(千t)			(千t)			(%)	(%)
紙・板紙国内出荷	11,817	11,201	23,018	10,777	10,789	21,566	96.3%	93.7%
新聞用紙出荷	982	994	1,976	912	915	1,827	92.1%	92.5%
<b>自 動 車</b>	(千台)			(千台)			(%)	(%)
国内生産台数	3,603	3,942	7,545	3,715	4,386	8,101	111.3%	107.4%
国内販売台数	2,050	2,165	4,215	1,923	2,462	4,385	113.7%	104.0%
<b>セメント</b>	(千t)			(千t)			(%)	(%)
国内生産	27,343	28,398	55,741	26,015	25,466	51,481	89.7%	92.4%
国内販売	18,689	19,181	37,870	18,593	18,673	37,266	97.4%	98.4%
<b>石 油 製 品</b>	(千kl)			(千kl)			(%)	(%)
燃料油内需量	71,179	82,276	153,455	70,383	80,491	150,874	97.8%	98.3%

\*粗鋼見掛消費量は、国内出荷量をさす。「生産」+「輸入」-「輸出」

\*末尾数値は四捨五入のため、合計欄と合致しないことがある。

\*前回発表時データからその後修正等により変更されているものがある。

# 2022(令和4)年度【下期】 輸送実績（1号票集計結果表）

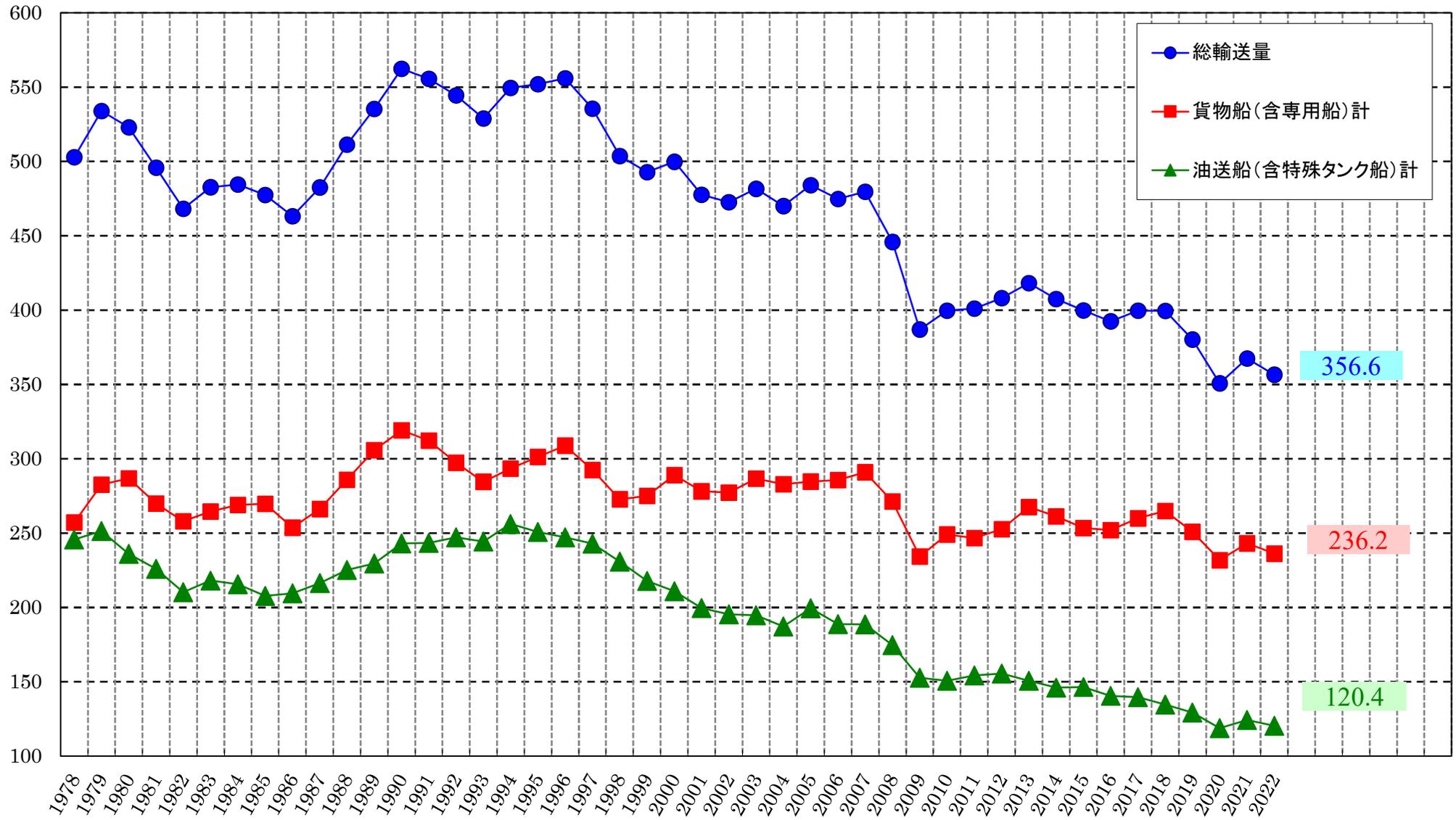
（単位：千トン、千kl（一般タンカー））

大分類	品目	2021(令和3)年度			2022(令和4)年度			前年度 下期比 (%) (C/A)	前年度 合計比 (%) (D/B)
		上期	下期 (A)	合計 (B)	上期	下期 (C)	合計 (D)		
鋼材	鋼材（一般鋼材）	23,236	23,525	46,761	20,996	20,823	41,819	88.5%	89.4%
	鋼材（容積材）	198	239	437	165	193	358	80.8%	81.9%
	計	23,434	23,764	47,198	21,161	21,016	42,177	88.4%	89.4%
原料	石灰石	18,442	17,909	36,351	17,580	16,928	34,508	94.5%	94.9%
	非金属鉱	1,248	1,110	2,358	1,084	1,002	2,086	90.3%	88.5%
	金属鉱	274	306	580	369	289	658	94.4%	113.4%
	スラグ	3,271	3,102	6,373	2,895	3,207	6,102	103.4%	95.7%
	その他原材料	6,860	7,414	14,274	6,761	6,401	13,162	86.3%	92.2%
	計	30,095	29,841	59,936	28,689	27,827	56,516	93.3%	94.3%
燃料	石炭	7,298	7,000	14,298	5,345	6,597	11,942	94.2%	83.5%
	コークス	2,301	2,033	4,334	2,259	2,570	4,829	126.4%	111.4%
	計	9,599	9,033	18,632	7,604	9,167	16,771	101.5%	90.0%
穀物 ・肥料 ・飼料	穀物・飼料	2,779	2,757	5,536	2,619	2,851	5,470	103.4%	98.8%
	肥料	384	413	797	442	441	883	106.8%	110.8%
	りん鉱石	3	0	3	3	6	9		
	計	3,166	3,170	6,336	3,064	3,298	6,362	104.0%	100.4%
機械・プラント		188	173	361	160	183	343	105.8%	95.0%
紙・パルプ	木材	711	743	1,454	720	785	1,505	105.7%	103.5%
	紙	787	690	1,477	685	649	1,334	94.1%	90.3%
	パルプ	44	29	73	31	26	57	89.7%	78.1%
	計	1,542	1,462	3,004	1,436	1,460	2,896	99.9%	96.4%
雑貨	一般雑貨	8,332	8,151	16,483	8,246	8,135	16,381	99.8%	99.4%
	油脂類	2	3	5	2	2	4		
	コンテナ	5,030	5,009	10,039	5,605	5,225	10,830	104.3%	107.9%
	塩	567	666	1,233	540	585	1,125	87.8%	91.2%
	アルミナ	28	27	55	27	23	50	85.2%	90.9%
	非鉄金属	351	351	702	353	326	679	92.9%	96.7%
	計	14,310	14,207	28,517	14,773	14,296	29,069	100.6%	101.9%
自動車		21,042	22,178	43,220	20,981	26,112	47,093	117.7%	109.0%
セメント		15,947	16,802	32,749	15,857	16,423	32,280	97.7%	98.6%
砂・砂利・石材		1,533	1,657	3,190	1,354	1,349	2,703	81.4%	84.7%
貨物船 合計		120,856	122,287	243,143	115,079	121,131	236,210	99.1%	97.1%
一般 タンカー	黒油	14,587	16,135	30,722	15,095	15,476	30,571	95.9%	99.5%
	白油	30,310	32,677	62,987	29,742	32,067	61,809	98.1%	98.1%
	油脂	464	470	934	460	516	976	109.8%	104.5%
	ケミカル	6,617	6,445	13,062	6,048	5,937	11,985	92.1%	91.8%
	計	51,978	55,727	107,705	51,345	53,996	105,341	96.9%	97.8%
特タン船		8,025	8,545	16,570	7,293	7,751	15,044	90.7%	90.8%
油送船 合計		60,003	64,272	124,275	58,638	61,747	120,385	96.1%	96.9%
総合計（貨物船+油送船）		180,859	186,559	367,418	173,717	182,878	356,595	98.0%	97.1%

注）末尾数値は四捨五入のため、合計欄と合致しないことがある

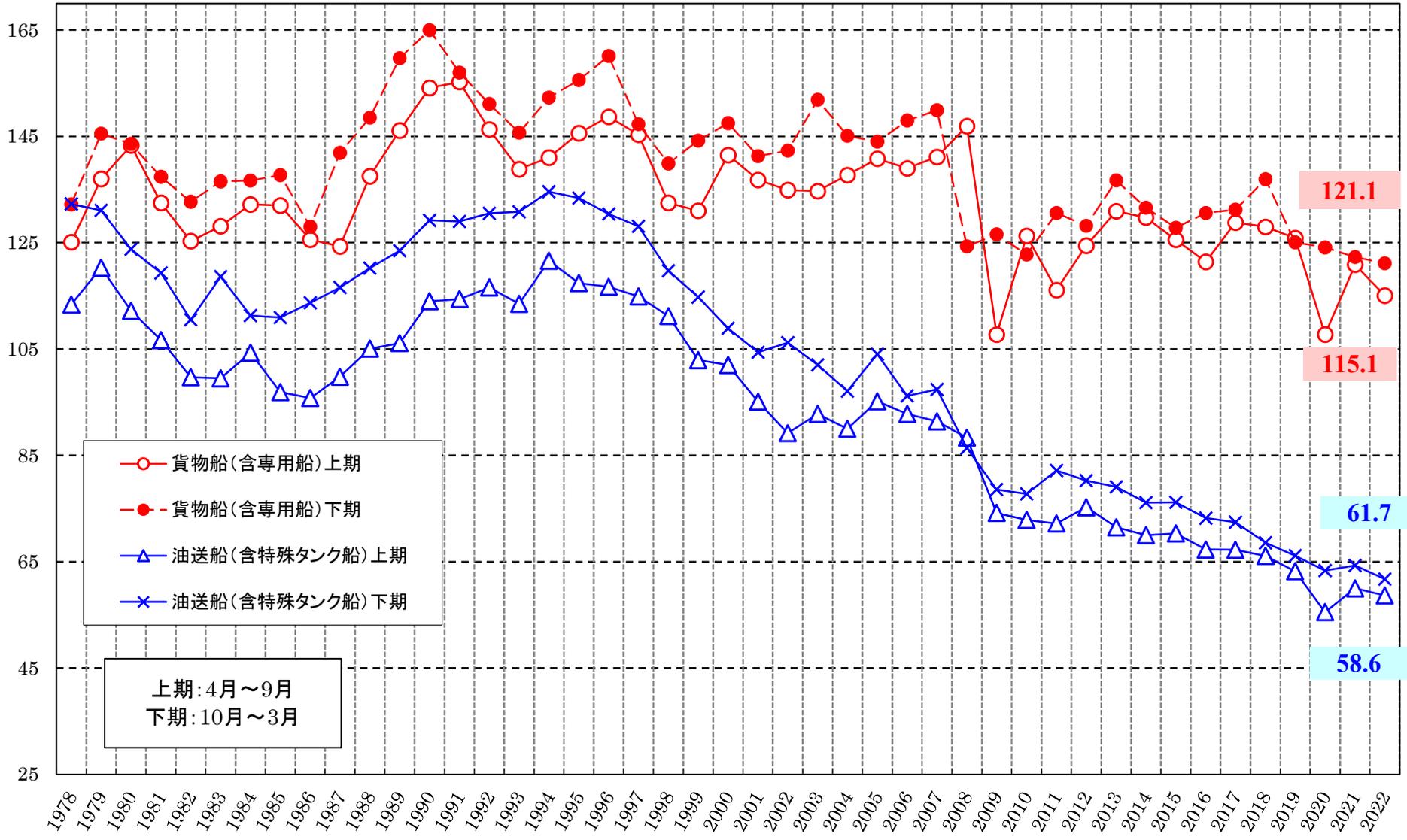
# 内航輸送実績推移

単位 貨物船:百万トン、一般タンカー:百万kl



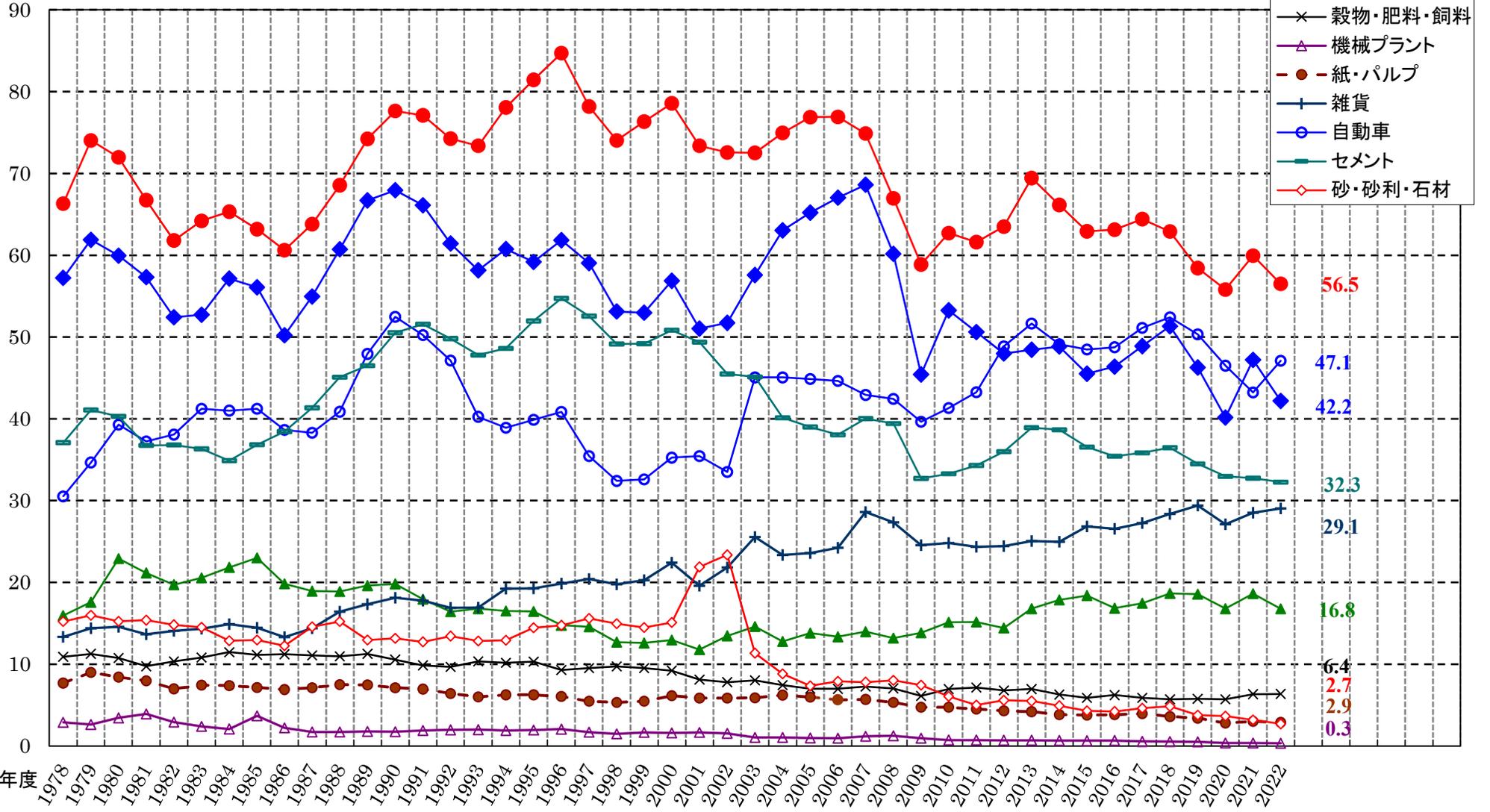
# 内航輸送実績推移(上・下期別)

単位 貨物船:百万トン、一般タンカー:百万kl



# 主要品目別(貨物船)の輸送実績推移(年度別)

単位 百万トン



# 主要品目別(油送船)の輸送実績推移(年度別)

単位 百万kl(特殊タンク船は百万トン)

